

重点プロジェクト（案）

【重点プロジェクトの位置づけ】

重点プロジェクトは、基本構想に掲げた将来像『ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷 南房総』を実現するため、後期基本計画の計画期間である5年間に特に力を入れていくテーマと、テーマに沿った施策・事業を分野横断的に示したものです。

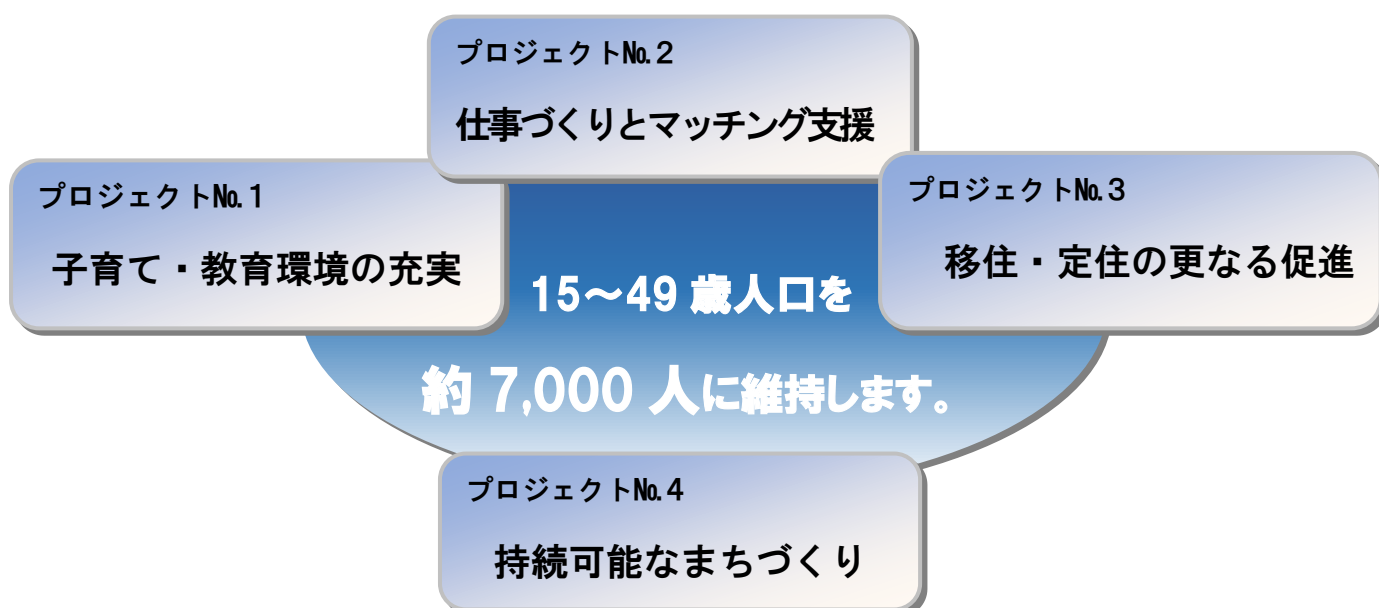
また、この重点プロジェクトは、市が全庁的・組織横断的に取り組むだけでなく、市民・団体・事業者など、南房総市に関わる人々の総力をもって取り組むべき、まちづくりの目標ともなります。

これまで述べた通り、本市では、急速な人口減少と少子高齢化が進んでいます。このままの状況が続けば、子どもの減少や、産業における働き手の不足、地域活動における担い手の不足がさらに進みます。その結果、子育てや教育環境への影響、産業の停滞、保健・医療・福祉・介護など身近な生活サービスの衰退や、地域コミュニティの弱体化などが引き起こされ、市民生活及び市の行財政運営に、重大な懸念が生じます。

また、「（新）南房総市人口ビジョン」において、人口動態が改善したとしても令和37（2055）年までは人口が減少し続けることが予測されていることから、人口維持策とあわせて、縮小する社会への適応にも取り組む必要があります。

この重点プロジェクトでは、「南房総市人口ビジョン・総合戦略」に掲げた方向性を踏まえ、将来にわたり人口を2万5千人程度に維持することを目指します。

具体的には、子育て・教育、産業、保健・医療・福祉・介護などの主要な担い手となる15～49歳の人口を、2032年に約7,000人に維持することとし、次の1～4のプロジェクトを展開していきます。



プロジェクト1 子育て・教育環境の充実

プロジェクト1では、妊娠・出産から就学・進学まで、切れ目のない子育て支援を展開するほか、南房総市の特性を踏まえた教育環境の充実や、子どもを育てる世代などの連携と交流の場づくりなどに努め、安心して子どもを産み育てられる南房総市をつくっていきます。

（１）子育て支援の充実

出生数の減少が続く本市ですが、恵まれた大自然や、地域ならではの人と人のつながりといった、南房総市ならではの魅力的な子育て環境があります。

この魅力的な子育て環境を最大限に活かしつつ、保育サービスをはじめとした子育て支援の充実を図り、仕事と家庭を両立しながら、地域の中で子どもを安心して育てられる環境整備を推進します。

【重要な取組】

- 子育て支援体制の充実 ●預かり保育・学童保育の充実
- 妊産婦及び乳幼児への支援の充実

【具体的な事業など】★新規 ◎拡充 ○継続

- ファミリーサポートセンター事業 ○一時的保育事業 ○病児・病後児保育事業
- ◎子ども医療費助成事業 ★給食費の一部無償化 ★保育料引き下げの検討
- ★高校生のいる世帯への経済的給付の検討 ★仕事と育児の両立支援の検討
- 預かり保育事業 ○放課後児童健全育成事業 ○こんにちは赤ちゃん事業
- 母子保健事業 ◎産後ケア事業 ◎特定不妊・不育治療費助成事業

（２）南房総市の特徴を踏まえた教育環境づくり

本市では、学校統合などを通じ児童・生徒の学びの環境づくりに努めてきました。また、塾で使えるクーポン券や放課後の空き教室を利用した塾の開設を実施し、学力の向上を図るとともに、米飯給食等を通じて、南房総の味を子どもたちへ伝えてきました。

このような、これまでに培ってきた基盤を活かしながら、家庭・地域・学校の連携のもとに、高い学力と故郷への誇りを持った児童・生徒を育てていきます。

【重要な取組】

- 学力の向上 ●特別支援教育体制の充実 ●南房総市への誇りと強い思いの涵養
- 防災対応力の向上

【具体的な事業など】★新規 ◎拡充 ○継続

- 学力向上事業（夏季講座、放課後学習教室、市内学力調査など）

- 学校外教育サービス利用助成事業 ○教育相談センター事業
○拠点施設管理運営事業 ○地域子育て支援拠点事業 ○発育発達支援事業
○学校給食事業の米飯給食推進・地場産物導入事業 ◎南房総学推進事業

（３）子どもを育てる世代などの連携と交流の場づくり

本市では、児童・生徒数の減少などに伴って、子どもを育てる世代の交流機会や、子どもがのびのびと遊べる場も限られてきました。

人口減少と少子化が進む今だからこそ、学校跡地活用などの活用により、子どもどうし、子育て世代どうしがふれあう場や、子ども・子育て世代と地元住民がふれあう場づくりなどに努め、子どもが健やかに育つ環境づくり、子どもを育てやすい環境づくりに努めていきます。

【重要な取組】

- 地域コミュニティの強化

【具体的な事業など】 ★新規 ◎拡充 ○継続

- ◎南房総学推進事業（再掲） ◎社会教育事業 ○出張にこにこひろば ★幼児教室
★子育てマップづくり ★旧小学校跡地公園整備事業 ○園庭開放

イメージ写真

イメージ写真

イメージ写真

プロジェクト2 仕事づくりとマッチング支援

プロジェクト2では、市民・事業者・関係機関との連携のもとに、地域資源を活用した新産業の創出や、起業支援・新規就農者支援に取り組むとともに、「人」と「しごと」のマッチングの仕組みを強化します。また、企業と人材の誘致を図るほか、本市の強みである観光業などの回復とさらなる発展に向けて、ニーズやマーケットの変化を捉えながら、プロモーションの強化に努めていきます。

（１）起業支援・企業誘致の推進

情報通信技術の飛躍的な発展などを背景に、個人の働き方や企業立地の自由度が高まっています。

このような潮流を捉え、南房総市での「しごと」をつくるため、既存企業の新分野へのチャレンジや新たに起業・創業を行う企業や個人に対し、ニーズや状況に応じた支援メニューをパッケージで提供します。また、専門的ノウハウを有する関係機関と連携し、意欲ある企業に対してプロモーションを行い、東京圏からの移転を促します。

【重要な取組】

- 起業・新事業創出の支援
- 企業誘致の推進

【具体的な事業など】

- ★新規 ◎拡充 ○継続
- 新たな仕事と雇用創出支援事業補助金
- ◎企業誘致推進事業
- 新たな仕事の間活用調査補助金

（２）「人」と「しごと」のマッチングの仕組みづくり

市民等意識調査や中学生アンケート結果から、本市では、その人が望む魅力的な働き方の実現が求められているといえます。

このため、各種スキルアップなど人材育成の支援を通じ、農林水産業・商工業のみならず、医療・福祉・介護などの担い手確保を目指します。また、若者を中心とした求職者と「しごと」とのマッチングの仕組みを構築し、雇用と担い手確保の促進に努めます。このほか、関係機関と連携しながら、「人としごとがつながる」南房総の特色を活かした南房総らしい働き方やこれからの時代にあった働き方に見える化し、情報発信できるよう努めます。

【重要な取組】

- 企業の経営基盤強化
- 若者を中心とした雇用の促進
- 農業・水産業の担い手の確保・育成

【具体的な事業など】

- ★新規 ◎拡充 ○継続

- 中小企業人材育成事業補助金 ○UI ターン地元企業マッチングイベント
○UIJ ターンによる起業・就業者創出事業
○新規就農者支援事業 ◎農業振興法人支援事業 ○漁業後継者育成事業

（３）地域資源を活かした南房総市産業の振興

本市の産業は、温暖な気候、青い空と海、緑濃い山々、食、産物、道の駅といった地域資源に恵まれ、農業・漁業などの第１次産業を基幹とし、これに観光業などを加えて成り立っています。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりいずれも大きな打撃を受け、現在は回復途上にあります。

このため、ニーズやマーケットの変化を捉え、プロモーションの強化に努めながら、魅力的な新事業の創出や新商品の開発などをすすめます。また、市民・事業者・関係機関との連携を促し、地域の担い手の確保・育成を支援します。本市の豊かな自然環境を活かした自然体験活動を推進する事業を進めています。このことを通じ、地域に眠る新たな観光資源を発掘し、ガイドの育成などに取り組むことで、就業への流れを構築します。

【重要な取組】

- 農産物のブランド化と販路の拡大 ●水産物のブランド化と販路の拡大
- 異業種連携による新たな商品などの開発
- 地域の特色を活かした観光拠点の整備・充実
- 豊かな自然を生かした多様なツーリズムの推進

【具体的な事業など】 ★新規 ◎拡充 ○継続

- 特産品振興事業 ○水産振興事業 ○農商工連携等推進事業
○道の駅の多機能化推進整備事業 ◎自然体験活動推進事業

イメージ写真

イメージ写真

プロジェクト3 移住・定住の更なる促進

プロジェクト3では、「移住先として選ばれるまち」であるだけでなく、「ずっと住み続けたいまち」「いずれは戻ってきたいまち」として、取組を進めます。ここでは、プロジェクト2（2）「人」と「しごと」のマッチングの仕組づくりと連動させながら、移住・定住希望者の相談などに対しトータルでコーディネートするとともに、住環境整備に関する支援を推進していきます。

（1）トータルコーディネートを通じた移住・定住促進

人口の「自然減」が進む本市では、移住・定住を促すことによって人口の「社会増」を安定的に実現していくことが重要となります。

このため、シティプロモーションの展開とともに、子育て世代などターゲットを明確化した移住・定住施策を強化します。具体的には、市民・事業者などとの連携のもとに、移住・定住希望者の相談などに対しトータルでコーディネートする仕組を構築し、移住・定住の円滑化を図ります。

【重要な取組】

- 移住・定住の促進

【具体的な事業など】★新規 ◎拡充 ○継続

- ◎移住・定住推進事業
- UIJ ターンによる起業・就業者創出事業
- 地域活力創造・産業高度化事業

（2）住まいの環境づくりの支援

南房総市への移住・定住を推進するにあたり、情報発信や相談業務、各種イベント等の実施に合わせ、実際に居住する環境づくりの支援を図っていきます。

具体的には、若年層の住まいの確保や、新築住宅の取得、物件売買・賃貸の取引などが促進されるよう支援制度を構築するとともに、既存建物の環境整備に資する取組を推進していきます。

【重要な取組】

- 住まいの環境づくりの支援
- 空き家対策の推進

【具体的な事業など】★新規 ◎拡充 ○継続

- ★若年層の住まう場の確保
- ◎空き家バンク事業
- 住宅取得奨励事業
- 合併処理浄化槽設置整備事業
- 木造住宅耐震改修費補助金
- 住宅用設備等脱炭素化促進事業
- 住宅等木質バイオマス暖房機等設置費等補助金
- 生ごみ処理機等購入費補助金

プロジェクト4 持続可能なまちづくり

プロジェクト4では、当面の間は避けられない人口減少に耐えられる社会システムへの再構築をめざし、市民等の主体的な活動と地域資源の連携・連動による「地域づくりの活性化」、地区ごとの拠点整備促進による「生活インフラの最適化」、DX推進・デジタルバインド対策による「デジタル行政への移行」、市民の防災力・避難所機能強化による「自然災害への備え」に取り組めます。

（１）地域づくりの活性化

行政区を中心とする地域コミュニティは、暮らしを支えるまちづくりの基礎単位ですが、人口減少・少子高齢化により担い手や活力が低下傾向にあります。そこで、各地区行政連絡協議会において各行政区における課題の共有や解決に向けた取組を推進します。

さらに、行政区をはじめとして、地域づくり協議会、市民団体、「ささえあいネットワーク」（協議体）、学校・企業など、地域で活躍する様々な主体との連携・連動を図り、地域づくりの活力を集約します。

あわせて、これらに果たすべき地域づくり支援員の役割を強化し、より積極的に推進する体制を整えます。

【重要な取組】

- 地域包括ケアの体制強化 ●多様な主体との協働の推進
- 地域コミュニティの活性化

【具体的な事業など】 ★新規 ◎拡充 ○継続

- ささえあいネットワーク（生活支援体制整備事業）
- ◎地域づくり支援事業 ○産官学連携推進事業
- 行政区への支援 ○市民提案型まちづくりチャレンジ提案

（２）生活インフラの最適化

市町村合併後の懸案とされていた都市計画区域の検討について新たな地域構想をつくる上で都市計画や市域のゾーニングなどについて検討を進めます。

人口減少に耐えられるよう生活インフラを再構築することを目的として、館山市・南房総市定住自立圏構想を踏まえた公共交通の広域的な再編を進めるとともに、各地区の生活拠点を維持していくことを目指し、公共交通結節点に商業機能・行政機能を集約するための実証的な取組を行います。

【重要な取組】

- 都市計画区域の検討 ●持続可能な公共交通の確立 ●公共交通拠点の機能強化
- 【具体的な事業など】★新規 ◎拡充 ○継続
- ◎都市計画区域の検討
- ◎館山市との連携による公共交通活性化事業
- ◎公共交通結節点の機能強化

（３）デジタル行政への移行

市民の利便性向上や行政のスリム化を進めるため、庁内各課に DX 推進員を設置し、個人番号制度の活用や先進技術の導入を積極的に進め、事務の効率化を図ります。

マイナンバーカードの取得を促進し、より便利なサービスを提供するため積極的に活用します。また、デジタルデバйд対策として行政・防災タブレットの無償貸出を検討するほか、スマホ教室の開催などを進めます。

【重要な取組】

- デジタル技術を活用した効率化の推進

【具体的な事業など】★新規 ◎拡充 ○継続

- ◎DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

- ★電子市役所アプリの導入推進

- ★デジタルデバйд対策の充実

（４）自然災害への備え

市民の防災力を強化し、自助の取組を進めるため、行政区単位に設置されている自主防災組織による備品購入や、避難場所などの整備を支援します。また、防災士資格取得に係る経費の補助を行います。

あわせて、災害発生に伴う大規模停電などに備え、太陽光発電等の整備により施設のオフグリッド化を進めます。

【重要な取組】

- 防災体制の強化

【具体的な事業など】★新規 ◎拡充 ○継続

- 市民の防災力・自助の強化（自主防災組織補助金、防災士資格取得支援事業）

- ★災害拠点となる施設のオフグリッド化